

〈統計ピックアップ〉

あなたのお子さんは読書は好きですか？



はいたい！5月といえばゴールデンウィーク。皆さんはどのようにお過ごしになりましたか？
 お子さんと公園や海、キャンプなどに出かけた方も多いと思いますが、中には図書館でゆっくり読書を楽しんだ方もいらっしゃるのではないですか。子どもだけではなく、大人も図書館にあるたくさんの本に囲まれるとワクワクしますよね。

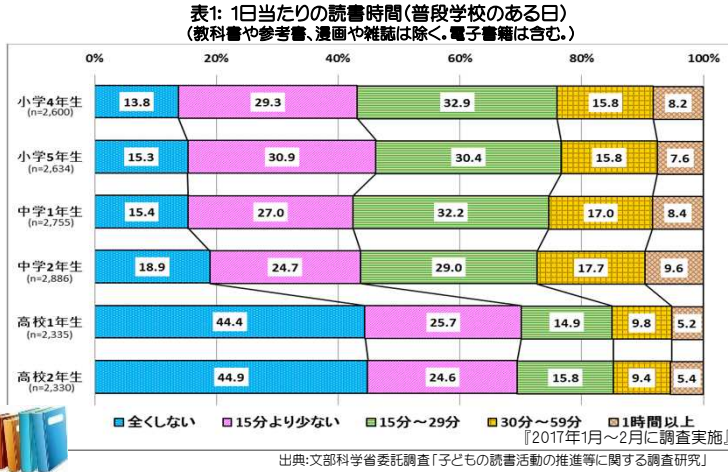


そこで、今月号では子どもの読書の状況について調べてみました。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、「子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」と位置付けています。

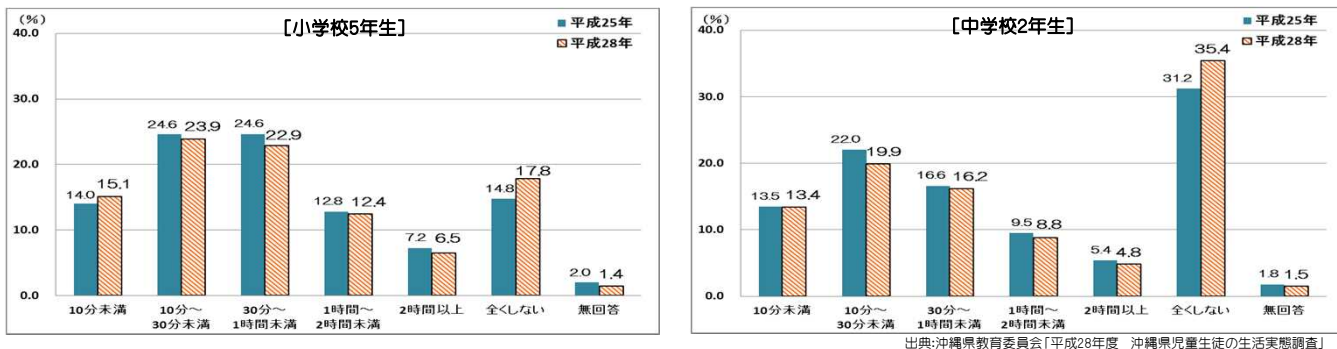
読書習慣を身につけることは大変重要なことだと思いますが、児童・生徒は平日にどれくらい本を読んでいるのでしょうか。

表1を見ると、1日に30分未満の読書をしている児童・生徒の割合は、小学生・中学生では約5～6割、高校生では約4割となっています。また、全く読書をしていない児童・生徒の割合は、小学生・中学生では約1～2割、高校生では4割以上となっており、学年が上がるにつれて高くなっていることが分かります。高校生が本を読まない理由としては、「時間がなかった」や、「他にしたいことがあったから」などが挙げられています。



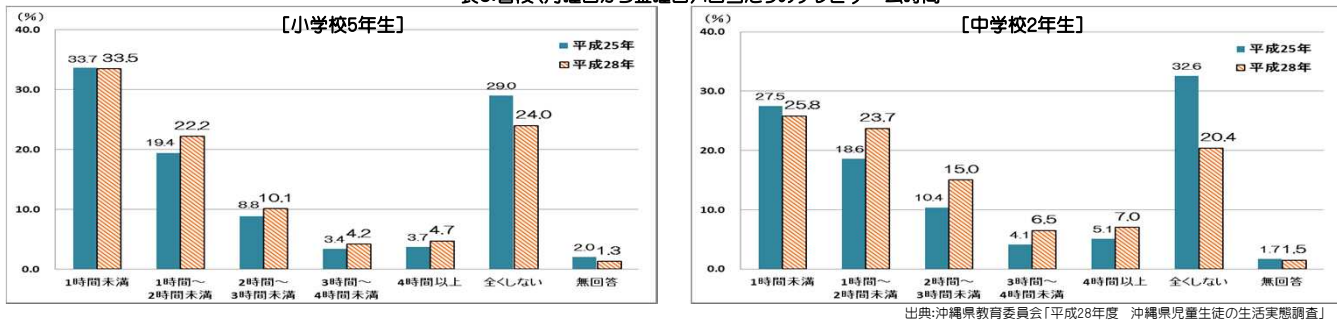
では次に、沖縄県の児童・生徒の状況を見てみましょう。表2は、小学校5年生と中学校2年生の1日当たりの読書時間を示したものとなっています。平成28年は小学校5年生、中学校2年生どちらも「10分～30分未満(小学生23.9%、中学生19.9%)」が最も多く、次に「30分～1時間未満(小学生22.9%、中学生16.2%)」となっています。平成25年と比較すると、小学生、中学生どちらも「10分以上～2時間以上」の読書時間の割合は減少しています。小学校5年生と中学校2年生を比較すると、中学校2年生では読書を「全くない」の割合が高く、読書の習慣がなくなっていることが分かります。

表2: 普段(月曜日から金曜日)1日当たりの読書時間(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)



読書の時間は減少していますが、一方でテレビゲームの時間はどのような状況になっているのでしょうか。表3を見ると、平成28年は小学校5年生、中学校2年生どちらも「1時間未満(小学生33.5%、中学生25.8%)」が最も多く、次に「1時間～2時間未満(小学生22.2%、中学生23.7%)」となっています。また、平成25年と比較すると、小学生・中学生どちらも「1時間以上から4時間以上」の全ての割合で増加しており、ゲームをする時間が増えていることが分かります。

表3: 普段(月曜日から金曜日)1日当たりのテレビゲーム時間



小学生では、家族と一緒に本を読んだり図書館や本屋に連れて行ってくれたりすることが、本を読むきっかけとなっているようです。たくさんの本に触れる機会を増やし、親子で一緒に本を読む環境をつくることで、読書習慣が身につくのではないのでしょうか。

